

# 令和5年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和5年10月12日(木)10:00~11:10	場 所	小谷村役場 201 会議室	記録者	上川(由)
出席者	<p>【委 員】4名 上川喜一、北村和則、吉澤学、花岡理香</p> <p>【事務局】4名 賣場崇大、諏訪匠、北村順二、上川由香里</p>				
No	内 容				
1	開会				
2	議題				
	<p>報告事項(1) 視聴者アンケート結果</p> <p>事務局より、資料1に基づいて説明がなされた。</p> <p>審議事項(1) 視聴者アンケート結果報告に引き続き、番組制作への意見交換</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委 員) リクエストにある「新しくできたお店の情報や、店主の想いも知りたい」に関連して、村特産品の赤ニンニクを加工した黒ニンニクを扱ってはどうか。最近商品化され、現在Aコープや道の駅で販売開始している。想いの部分も、生産組合長などに聞き取ってもらえれば。</p> <p>事務局) ぜひ取材したい。</p> <p>委 員) 先日行われたハロウィン列車のイベントにて、撮影スタッフの体調不良で取材キャンセルとなった。CATVの取材が入ることを楽しみにしていたため残念。撮影できるスタッフが1名しかいないとこういふことも起こるため、不在時の人員確保など何か対策を考えてほしい。</p> <p>事務局) 以前からの課題を挙げていただいた。最近は別スタッフもスマホを使った撮影を行いはじめたが、他業務もあるため全てに対応することは厳しい。また、専門機材を扱える人材の確保も実現が難しい状態。</p> <p>委 員) イベントスタッフから撮影データ提供を受け、CATV側で編集する形を取ってもいいのではないか。</p> <p>事務局) そういった形式での対応もできるよう進めていきたい。</p> <p>委 員) 「村民でも知らない情報が見られて良い」という意見に同意する。個人的にも林道妙高線や今井工務店を取り上げた番組はおもしろかった。</p> <p>YouTubeチャンネルの登録者数が1,000人になれば収益化も可能との説明があったが、収益の発生フローやどの程度の収益が見込めるのか教えてほしい。</p> <p>事務局) 詳細は確認中だが、大まかには、動画内に広告を設定した後、再生数に応じて収益が発生する仕組みとなっている。1再生あたりの単価は変動があるが低い。最初から多くの収益が得られる訳ではないが制作費などに充てていきたい。</p> <p>委 員) 番組を通じて子どもの様子を知れる需要が一定数あるということで一つ提案したい。都市部</p>				

では、普段の授業中の様子を LINE で保護者に共有するといった事例があると聞いた。運動会など行事の姿を見るのもいいが、日常的な授業や給食などの様子も知れたら尚良いと思う。こういった発信は学校主体が通常ではあると思うが、働き方改革もあり、先生方の業務負担を軽くしていく流れなので、CATV 側から働きかけることはできないだろうか。

事務局) 学校側と相談しながら検討していきたい。

委員) 「放送を見逃してしまう」との意見だが、例えば「おたりマガジン」は行事予定のお知らせがあり、月初に放送されるとわかっているので視聴しやすい。学校関係は○曜日放送など、タイミングがある程度固定されれば視聴しやすさにつながると思うが、撮影・編集のタイミングもあるので難しいか。

事務局) 曜日固定など検討していきたい。

委員) 番組案内の改善案に LINE の活用が挙げられているが、同じ案内をいくつも出すというのはいかがだろう。もう少し効率化できないものか。

委員) 公式 LINE やグループなどに重複して登録・参加している場合、同じ案内が同時に複数送られてくるのは個人的にはうざったく感じるし、登録を解除したくなってしまう。

事務局) いただいたご意見を受け、より良い方法を検討していきたい。

委員) 放送タイミングが判らないという方には、どのように番組情報を得ているのか確認してから対策していくといいのではないか。

事務局) その通りだと思う。ご意見いただいた際に確認するよう心掛ける。

委員) 趣旨が逸れてしまうが、過去の放送データはどのように管理しているのか。アーカイブとして公開しているのか。

事務局) 過去 2 年ほどは可能な番組に限り YouTube で公開している。未公開の番組も、撮影素材は削除しているが、放送分（完パケ）と字幕・BGM 等が入っていない状態（白）はデータ保管してある。

委員) 保存期間など定めはあるのか。

事務局) 特に決まっていない。少なくとも過去 10 年ほどのデータは保管されている。

委員) 特定の子どもの成長過程を追うなど活用できる機会もあるかと思われるので、ぜひ大事にしてほしい。

## 審議事項(2) スポンサー募集について

事務局より、資料 2 に基づいて説明がなされた。

### 【委員からの意見等】

委員) 放送期間 1 ヶ月というのは長く感じる。一週間単位で区切るなど検討してほしい。

委員) 自主放送を視聴する機会があまり多くない場合、放送期間が長い方が視聴される可能性があるのではないか。

委員) イベントや季節限定の案内などの告知なら、もう少し短期間の方が効果的ではないかと思つての意見だった。期間や放送時間帯など、希望に応じて柔軟に変更できるよう検討してほしい。

事務局) 今回提示したものは案なので、想定されるニーズに合わせて調整していく。

委員) CM 放送がある程度なされてからの話になるが、新着のものがわかりやすくなるように専用枠を確保してほしい。

委員) 放送方法が、1 つの番組の途中で挟むのか、番組終了と次の番組開始までの間に連続して流すのか。それによって対応が異なるのではないか。

委員) 現在放送されている文字放送は、必要な情報を一通り拾ったら視聴しなくなる。同じように CM だけ集めて放送しても視聴しなくなるかもしれないので、1 つの番組の途中で挟む形が良いと思う。また、以前に音告で事務局の歌が流れた時印象に残った。それと同様に新しい CM も流れたら目につくと思う。

事務局) システム上は1つの番組の途中で CM を挟むことは可能だが、そうした形式に不慣れな始めのうちは番組と番組の間に流す方法で取り組みたい。

また、運動会など学校行事の途中で CM が挟まるのは、保護者や録画で視聴したい層からするとあまり好ましくないことだと思う。番組の前後に CM 枠をくっつける形にするなど、工夫していきたい。

委員) CM で消費促進できれば、村内の経済活性にもつながるため良いと思う。商品紹介など、視聴する村民がイメージを持ちやすい映像作りが肝要か。

委員) 費用が発生すると、依頼主の要望に応えなければならないと思う。例えば、スーパーの特売チラシを一部そのまま映して~などの意図しない要望も懸念される。

事務局) まずは年内をお試し期間として、依頼主から出てきた要望を精査してブラッシュアップしていきたい。

委員) 村外などで放送を視聴できない依頼主に対して、CM 単品は事前確認してもらえらるとしても、実際の放送実績を確認していただく方法が難しい。特に初めて依頼する方たちへどのように示すかが課題か。

事務局) 少し難しいが、検討したい。

委員) これまでも食レポなどで事業者取材協力いただくことがあったが、取材対応者（無償宣伝）とスポンサー（有償宣伝）の間で不公平感が生じないよう、立ち位置を整理しておいてほしい。例えば、取材の際に CM 用の映像も撮影し、それぞれ時期を見計らって放送するなどバランスを取ってほしい。

3 その他  
特になし

4 閉会

特記事項

次回開催は、2024年2月実施予定。